

全科協ニュース

1979年9月1日発行
(通巻第49号)

全国科学博物館協議会

東京都台東区上野公園
国立科学博物館内

☎ 110
Tel. 03-822-0111(大代)

おもな内容：◇国際児童年記念サイエンスフェア 市立名古屋科学館 ◇アイディア・コーナー コピー文書類を
小冊子にする簡単な方法 ◇会員館園の紹介 富山市科学文化センター

国際児童年記念サイエンスフェア

市立名古屋科学館

国際児童年記念行事については名古屋市も相当に力を入れ、独自の企画がなされている。当館の所管である市民局以外にも緑政・民生局,教育委員会その他にわたる広汎なもので、いろいろな行事計画を進めているが、その皮切りとして当館で、総合タイトルを「国際児童年記念サイエンスフェア」とし、数々の行事を実施し、一応の成功をみたのでそのあらましを報告する。

構成

何億という額でのお祭り行事でなく、とかく乏しい自治体予算から、「特に児童年行事に…」と、500万円の予算を捻出してくれた。…とはいうものの物価高の昨今のこと、少々混み込んだ展示品ならば1つ作れば終わりという予算である。これをいかに効果的に使い、見学者・参加者を集めて教育効果、投資効果を高めるかということで、約350万円を展覧会に、残額を親子で参加できるものを主体としたいくつかの行事で構成した。



展覧会テーマ展示

夏休み入り直後の7月21日(土)～8月5日(日)の2週間、月曜休館日を除いて連日開催される展覧会・展示会の中に各種行事を分散配分し、開催期間中はいつも何か催しがあるようにし、かつ限りある職員の労力集中が過度にならないように考慮した。

夢ののりもの科学展(7月21日～8月5日 延14日間。
無料)

近時SL列車運転の復活(特に当県から近く、経営陣に名古屋市に関連ある、知る人ぞ知る鉄道のオーソリティ、白井氏のおられる静岡の大井川鉄道は有名である)、夜行列車ブルートレインの人気はすさまじいものがあるが、それらも入れつつ未来指向のものを多数集めた。

軌道交通システムとしては、国鉄のリニアモーターカー第1号の試験車、日本車両のVONAなどを屋外展示し、地元名城大学の小沢久之亟教授の音速滑走体(リニアモーター駆動で、実物は真空チューブ中を進む構想のもの)の走行実験が人気を集めていた。

屋内での日本航空のリニアモーターカー大型模型の浮上走行実験は、重さ10数kgのボディが見学者の目前で数mm浮き沈みし、ハチの羽音のような、かすかな音と共に移動する様子は幻想的でさえあった。

その他各種のモノレールや新交通システムの模型が集められたが、ホーバークラフト、水中翼船、ジェットオイル、大型カーフェリー、タウンカーや水素自動車、飛行船(グラーフツェペリン号)の大型模型も珍しいものであったろう。折から名古屋市東部丘陵地帯での児童年行事に、軟式飛行船が館上空を2日にわたって何度も低空で飛来し、グッドタイミングな思わぬ効果をあげた。

交通機関そのものではないが変わったものとしては電気通信科学館からお借りした自動車電話がある。会場内からモニターテレビに写っている屋外の子供用電気自動車を無線で呼び出し、通話できるものである。会期中の見学者は約33,000人であった。

科学クイズ大会とプラネタリウムの夕べ（7月21日, 22日, 8月4日3日間。予約申し込み, 無料）

夕方18時から19時30分までのため、薄暮とはいえ小学生対象のことと保護者同伴を条件とした。往復はがきによる予約申し込みで1日約430人をプラネタリウムドームに入れた。入場の際配布された問題（10問）ごとに「1, 2, 3」の番号を振った解答用紙に、正しいと思う番号を鉛筆でチェックさせる方式で、問題は、プラネタリウム担当者がスライドプロジェクターで解説を加えながら順次ドーム天井へ映し出した。約30分で終了し、係員数人で解答用紙を回収、別室で正解部分に穴を明けたシートを重ねて採点。その間に50分間、特別演出のプラネタリウムを観覧させた。正解者（事実上は殆んど全員）には当館の生まれ月別の星座バッジを進呈、解答不能な幼児や遅刻者には館名入りの鉛筆2本を配布した。

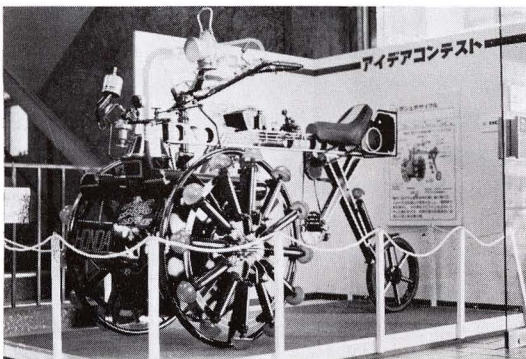
なかよし大観望会（7月27, 28日。無料）

毎年、地元の中日新聞社と共催で秋季に実施しているものであるが、たまたま今年の秋は、月以外なにも期待できないし、児童年行事中ならばなんとか土星が低空で捉えられそうなので、月令に合わせて組み込んだ。

館南側の公園に望遠鏡10台を配置し観望させた。望遠鏡は館手持ちのもの、協賛各社のものとバラエティに富んだのが結果としては良かったように思う。

参加者には月面図、星座図入りの印刷物を配布した。初日は折からの悪天候ながら、冴えた雲間の細い月面に危難の海、クラビウスなどよく見え、参加者も700人程度あったが、2日目の28日は雨天となってしまった。

望遠鏡新製品展示（7月21日～8月5日延14日間・展示室）



「世界一非効率な車」人力でペダルを踏み発電し、蒸気を作り車輪スポークのピストンを動かす進む。

アマチュア用望遠鏡は初歩的な器械から相当な高級品まで幅があり、近年各社が新機軸のものを開発し、特に写真への進出に伴って同架アタッチメントや大口径シュミットカメラの出現等多岐多様である。

観望シーズンのこととて、日本中の各種のものを集中展示することも意義があるので、メーカー各社に協力を依頼した。ただし設置場所は無料区ではなく、天文展示室内である。

科学工作のつどい（7月31日～8月3日, 延4日間。予約申し込み, 材料費の一部負担として1,000円）

小学5, 6年生を対象に1日40人。地下実験室で1石トランジスタラジオの組み立て実習。この種の工作実習は、どうしてもテンポの遅い子供がおり、調整時になって誤接続（まれに材料不良やハンダの加熱損傷）で鳴らないものが2～3でてくる。このため講座カリキュラムの確認を兼ね、予備品10台程を前もって作っておいた。

子ども科学映画のつどい（7月24日～29日, 延6日間。

無料）

前半4日間は「まんが偉人物語」ほかの一般的なもので、後2日は展覧会にちなんで「世界の都市交通」など交通ものとした。1日1回の予定であったが、延々と並ぶ始末で急きょ追加映写を実施している。

子どものための見学会（7月25, 26日。予約申し込み制, 傷害保険料等300円）

小学5, 6年生と中学生を対象に実施。25日は近代産業の工程と新しい専門理工学館が見学できるトヨタ自動車工業K. K.の高岡工場とトヨタ会館、26日はエネルギーの一方策として試みられている知多半島中部にある風力発電の状況と温室への利用、中部電力知多火力発電所のコースとした。各バス1台（参加者約50名ずつ）で、バスはトヨタ自工、中部電力の好意によるものである。

おわりに

無料・予約申し込み制、いずれの行事も対応に困惑するほど超満員の盛況であったことは、関係各機関の後援・協力によるところが大きい。それに市内全戸に配布される「広報なごや」等によるPRが行き届いていたこともあり、タイミングもよかったと思う。

この種の行事は今年各地で催される様子であり、特に名古屋市東郊では予算数億円という行事が8月いっぱい大々的に実施される予定であったので、これとラップしない時期に行わないと少ない予算の効果的使用が望めないで、少々無理をして開催期を早め、市内の夏休みの始まりに行事を集中した。このためか、大いに報道関係の関心を集め、展覧会などは度々テレビ・ラジオで取り上げられ、全国ネットにもいくつかのり、盛況のうちに幕を閉じることができた。（平沢 康夫）

アイデア・コーナー

コピー文書類を小冊子にする簡便な方法

コピーした文書に表紙をつけて小冊子とし、背中にタイトルを記入しておく整理・利用に便利である。ここでは少々手のあいた時間を利用して少量のコピーを冊子にする方法を紹介する。

材料：工作用の白ボール紙（110×82cmのものが安上がり）、木工用ボンド（酢酸エマルジョン樹脂）、水性合成樹脂エマルジョンペイント（ツヤありの塗料）、ハケ、ポリエチレン袋適量

まずコピーを、A4やB4の規格の場合は2つに折り、背中をよく揃えてからハケで木工用ボンドをたっぷり塗る。これをポリエチレン袋の間にはさんで乾かす。ボンドが乾けばさらに2回ぐらい上に重ね塗りをする。乾いたボンドはポリエチレン袋から簡単にはがれる。乾かないうちははがさないこと。

コピーはこのままでも利用できる状態であるが、白ボール紙に水性樹脂塗料を薄く塗布して表紙にするとカッコウのついた冊子ができあがる。塗料の色の配合

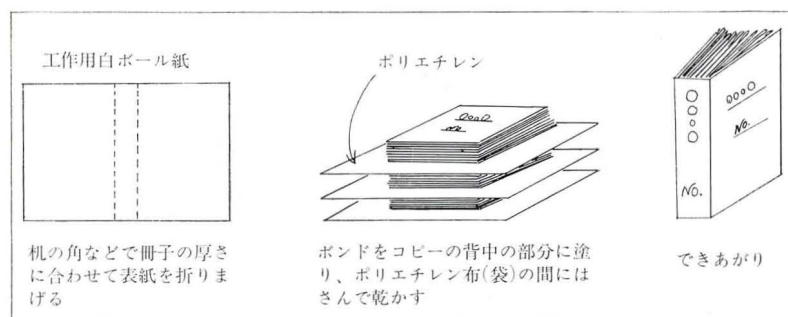
や、ツヤなし塗料を下塗りに使うなどの工夫で、小学生用の工作用白ボール紙とは思えない立派な表紙になる。塗料が乾いたらボール紙の原紙から冊子の大きさに合わせて表紙を切り取る。このときコピーの厚さと表紙の背中に当たる部分の幅をよく合わせる。次にコピーのボンドで固めた背中と表紙の背中を同じ木工用ボンドを用いてよくはりあわせる。

ボンドが乾いたら表紙の背中にタイトルを記入する。水性のインキは塗料にはじかれるがロットリングのインキなどは比較的よい。これも強くこすると消えることがあるのが難点である。別の用紙に表題を記入して、同じ塗料を接着剤として利用し、あとから背中にはりつけるのも一法である。英文のタイトルの場合、アルファベットの活字を買って印刷インキで押すと立派な冊子になる。謄写用インキはいつまでも乾かないから用いないこと。樹脂塗料は乾くと水をはじくので手あかで汚れることはない。ただし、十分に乾燥

させてないと、冊子を重ねるとくっついてしまうので要注意。

このようにして冊子を作ると100冊作る場合の1冊あたりの単価は9～12円（人件費別）の計算になる。

（土居祥兌）



会 員 館 園 の 紹 介

富 山 市 科 学 文 化 セ ン タ ー

富山市では市民の自然や科学への関心の高まりに対応して、科学博物館機能を中核とした科学文化センターの建設を現在進めている。場所は富山市の中心から南へ約2 Km、城南公園の中で、総事業費16億2千9百万円をかけ、昭和53年7月10日着工、今年11月23日開館をめざしている。

1. 当館の基本的な考え方

私たちの生活の基盤としての富山の自然を体系的により正確に知るため、様々な角度から展示してある資料を見て・触れて・動かし、また、各種の教室で実際に体験できる科学博物館機能をもった施設とする。さらに生涯教育の一助として科学する心を育てるとともに、そのほ

か施設利用をとおして、教養と文化を滋養する機能を併せもった施設とする。

2. 規模

鉄骨鉄筋コンクリート造り、地下1階・地上3階・塔屋2階で、建築面積1,586㎡、建築延面積5,635㎡である。部門別では普及教育部門540㎡、調査研究部門670㎡、保管部門332㎡、展示部門1,587㎡、管理部門683㎡、その他ホール・廊下1,823㎡である。

3. おもな部屋

(1) 地下1階

機械室、収蔵庫、薬品保管室、化学分析室、スタジオ・調整室、暗室・写真処理室、標本製作室、文献資料

室、書庫、石材工作室、低温工作室、ハロゲンボンベ室

(2) 地上1階

レファレンス室、ホール、科学教室、工作教室、サークル教室(A, B)、学芸員室、事務室、応接・会議室、守衛室、荷解場

(3) 地上2階

自然史展示室、理工展示室、特別展示室、科学の広場

(4) 地上3階・塔屋

天文展示ホール、プラネタリウム投映室。

4. おもな事業

(1) 収集保管事業

富山を中心に全国的規模で資料の収集保管を行う。対象は動植物、岩石・化石、天文に関する標本・資料、および理工に関する文献や資料である。

(2) 調査研究事業

富山を中心とした郷土の自然に関する研究を行う。研究成果の公表は研究報告書や特別展示等で行う。

(3) 展示事業

自然史、理工の常設展示を中心とし、その他に特別展示やロビー・廊下の壁面を利用した企画展示を行う。また、プラネタリウムによる天文投映を行う。

(4) 普及教育事業

「働きかける博物館」をめざす当館として最も力を入れている事業である。自然教室、科学教室、生活科学教室、天文教室、移動天文教室、子供天文教室、市民自然大学、学級・サークル活動を予定している。この他に現在すでに刊行している季刊の普及雑誌「とやまと自然」、リーフレット「今月の話題」、オープン後に発行を予定している展示解説書などによる普及教育を考えている。また、来館者の質問に答えるために、1階にレファレン

ス室を設けている。

所在地：☎930-11 富山市西中野町3-1-19

電話：(0764)-91-2123



会員館園の消息

【新入会】

- 栃木県教育委員会文化課 博物館建設準備班
☎320 宇都宮市桜4-2-2
- 観音崎自然博物館
☎239 横須賀市鴨居4丁目南門
- 東海大学海洋科学博物館
☎424 清水市三保2,389
- 東海大学人体科学博物館
☎424 清水市三保2,407
- 東京前川科学株式会社京都工場(購読会員)
☎606 京都市左京区聖護院蓮華蔵町8

Display



株式会社 東京スタジオ

本社 東京都豊島区駒込1-14-6 TEL 03・946・8241

TOKYO SAPPORO SAITAMA HAMAMATSU TOYOHASHI KYOTO